

4. 介護ロボットおよび介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

2) 移動・移乗スライディング用具

(2) 移動・移乗スライディング用具の使用手順および注意事項

③ ローラースライド使用手順

㊦ ベッドからリクライニング型車いすへ（介助者2人で行う.以下、介助者A,介助者Bと表記する.タオルケットも用いる）

項目	No.	手順	留意点や手順のねらい
使用前の点検	①	使用物品（ローラースライド、リクライニング車いす：以下車いす、ストレッチャー）の点検をしておく。 タオルケット、膝窩部に当てるクッションも準備しておく	
	②	① 利用者にあいさつをする。	
	③	② これから行うことについての説明を行い、同意を得る。 ③ 利用者の体調を確認する。	
移乗の準備	④	④ ベッドサイドに車いすを準備し、車いすよりベッドが少し高くなるよう高さ調整を行っておく。	高さ調整をした後は、ベッドの両サイドに介助者が立てるよう、車いすをベッドから少し離す。
	⑤	⑤ 利用者の身体の下にタオルケットを敷く。	
	⑥	⑥ 利用者の頭部と肩が乗るように枕を深めに当てる。	移乗中の頭部の保護になる。
	⑦	⑦ 利用者の膝窩部にクッションを当てる。	下腿が支えられ安楽な姿勢になる。
	⑧	⑧ 介助者Aは車いすのある方のベッドの横、介助者Bは反対側のベッドの横に立つ。ローラースライドは、車いすの上に用意しておく。	
	⑨	⑨ 介助者Bが、自分と反対側のタオルケットの端をもって利用者を半側臥位にし、介助者Aが利用者の身体の下にローラースライドを差しこんだ後、仰臥位に戻す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の半分程度がローラースライドに乗る程度に差し込めれば良い。</li> <li>・枕がローラースライドに乗る位置に差し込む。</li> <li>・利用者の半側臥位を支える介助者は前傾姿勢になりすぎないように注意する。</li> </ul>
	⑩	⑩ 利用者の枕と膝窩部のクッションを移動する方向に少し引き出しておく。	移乗中の頭部の保護になる 枕を移動する方向に引き出すことにより、枕が滑りやすくなる。 足部がローラースライドに乗りやすくなる。
	⑪	⑪ 介助者はベッドの両側に立ち、それぞれタオルケットの端を持つ。	



移乗	⑫	<p>介助者Aがタオルケットを引き、利用者の身体をベッドの端まで移動させる。介助者Bはタオルケットを少し引き上げるように持ち、介助者Aの動きに合わせる。</p>	<p>事故防止や利用者の不安を軽減するために、一気に車いすまで滑らすのではなく、ベッドの端（車いすとの境）で移動を止める。</p>
	⑬	<p>介助者Bは、車いす側のタオルケットの端を持ち、利用者がベッドから転落しないように支える。</p>	<p>介助者Bは前傾姿勢になりすぎないように注意する。</p>
	⑭	<p>介助者Aはベッドサイドから離れ、車いすをベッドに水平に隙間なく近づけた後、ベッドと反対側の車いすの横に立つ。</p>	
	⑮	<p>再度、介助者Aがタオルケットの端を持って利用者の身体を車いす上へ引き寄せるように移動させる。介助者Bは自分側のタオルケットの端を持って、利用者の身体がまっすぐ車いすに乗るようタオルケットを引く力とバランスをとる。</p>	
	⑯	<p>利用者の身体が車いすの中央に移動したことを確認したら、介助者Bは車いす側にまわる。</p>	
移乗後の体位の調整	⑰	<p>介助者Aは、利用者が車いすから転落しないようにタオルケットで包むように支え、介助者Bは車いすをベッドから少し離す。</p>	
	⑱	<p>介助者Bはベッドと車いすの間に入り上半身の方からローラーを引く抜く。</p>	



	⑱	車いすの両脇からタオルケットを用いて姿勢を整える。	
移乗後の安全、安楽の確認	⑳	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する。	
	㉑	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する。	

